

# いま、みの～れから離れたくない



演劇ファミリーMyu / OMT-JAPAN

いば  
椎葉 かなみさん

みの～れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
のすすめ

No.212

小学2年生の時、母の勧めでMyuのワークショップに参加。人前に立つのが元々好きで、「MyuとOMTから離れたくない」と思って県内に進学。MyuとOMT-JAPANのメンバーで、小美玉市羽鳥地区にお住まいの椎葉かなみさんにインタビューします。

## 自信を持った みの～れ経験

保育園児の頃からみの～れの芝生広場で遊んでいた椎葉さんにとって「物心つく前からみの～れは身近な存在でした」。宝塚歌劇団や帝国劇場が大好きな母の勧めで、小学2年生の時にMyuのワークショップに参加。その後「ミュージカル聖夜の贈り物」で初舞台を踏み、あれから10年。続けてこられた理由は「見ず知らずのお客様さんから『すごかったよ』と褒めてもらえたことと、すごく楽しかったからだと思います」。

辞めようと思ったこともあったそう。「ミュージカル黄色い袋と魔法のトンネル」でメインキャストを務め、「ここが区切りかなと思っていましたが、スタッフの皆さんと仲良くなったこともあって」

高校2年の時に照明操作を担当。「めっちゃめっちゃ緊張しましたがすごく楽しかったです」。これからもスタッフでMyuに関わりたいと思っているそうで、「将来、子どもが生まれて大きくなったら、3世代で一緒にキャストで出たいなと母に言いました」と笑顔。

OMT-JAPANは、「地域のイベントに出張し、幅広い世代の人と関わることが楽しい」と椎葉さん。最近ではマジックやジャグリング体験をコーディネート。「大人も夢中になってくれるので嬉しい。新喜劇も復活するのですごく楽しみです」。

今年度から小美玉コンシェルジュに就任して観光案内を務める椎葉さん。4月の小美玉さくらフェスティバルでデビュー。5月は市外に出向き、PR・物販・司会を務めます。Myuの先輩で小美玉コンシェルジュを務めた

郡司千尋さんと門倉葉さんに続いて就任したことに「誇りに思っています。私みたいなのに、年下のMyuの子たちが小美玉コンシェルジュになりたいなと思ってくれたら嬉しい」と語ります。

沖縄県うるま市の中高生ミュージカル「肝高の阿麻和利」みの～れ招聘公演に参加したことをきっかけに、全国各地で行われる中高生ミュージカルに幾度となく出演してきた椎葉さん。「知らない人ばかりの環境に飛び込んで、自信を持って活動できたのはみの～れのおかげ」と振り返ります。「笑顔でいることの大切さ、対応力、何事も意味付けをして行動するなどを学んできたので、これから先、何が起きても大丈夫だと思えます」とっこり。「やりたいことを後押ししてくれる両親に感謝です」と椎葉さん。将来が楽しみです。（藤田佐知子）